愛知登文会ニュース 第28号

令和3年1月20日号

<mark>1 事</mark>業実施報告「オンライン あいちのたてもの博覧会」(2020 年度)

今回で 7 回目となったあいちのたてもの博覧会(建物特別公開)は、新型コロナの感染拡大防止の観点からオンライン開催となりました。はじめての試みで戸惑いも多く、思わぬ失敗もありましたが、ライブ配信で 8 箇所、オンデマンド配信で 20 箇所の動画を制作することで、これまでなかなか参加できなかった方にも愛知の登録文化財の魅力を味わっていただくことができるのではないか思います。ぜひご視聴ください。



ライブ配信

名古屋陶磁器会館(名古屋市) 寛家住宅(名古屋市) 名古屋テレビ塔(名古屋市) 蓮教寺(名古屋市) 為三郎記念館(名古屋市) 窯のある広場・資料館(常滑市) 大野宿鳳来館・旧料亭菊水(新城市) 小栗家住宅(半田市)

オンデマンド配信

日本陶磁器センター(名古屋市) 中村公園記念館・豊公輝 (名古屋市) 日本福音ルーテル復活教会(名古屋市) 布池教会(名古屋市) 川原田家住宅(名古屋市) 川湊屋(一宮市) 葛利毛織工業(一宮市) 旧山繁商店(瀬戸市) 尾関家住宅(犬山市) 寂光院(犬山市) 柴田家住宅(清須市) 川田家住宅(扶桑町) 三井家住宅(旧庄屋)(武豊町) 野間郵便局旧局舎(美浜町) 旧石原家住宅(岡崎市) 善立寺(岡崎市) 冨田家住宅(岡崎市) 豊橋市公会堂(豊橋市) 豊橋市民俗資料収蔵室(豊橋市) トヨテック本社社屋(豊川市)

◆ライブ配信(8箇所)

現地からの生中継映像または前 撮動画を YouTube Live などで 配信し、視聴者からの感想や質問 にお答えしました。

小栗家住宅は申込者限定の Zoom配信でしたが、前撮りした ドローンによる空からの映像や 専門家による梁の解説部分は YouTubeでも配信しています。



窯のある広場・資料館(11/14) 大規模な保全工事について事前編集 動画も交え、詳しく紹介。窯内部のプロジェクションマッピング映像も。



蓮教寺(11/21) 三井住職による山門、本堂、書院、梵音寺、鐘楼の解説を事前撮影して配信。360度カメラがおもしろい。



名古屋陶磁器会館(11/7) 建築史家の村瀬良太氏が高校生を案 内する様子を配信。高校生のリアルな 反応・本音も見どころ。



大野宿鳳来館・旧料亭菊水(11/15) 午前中に実施したプレミアム見学ツアーの様子を午後に配信。2つの文化 財と周辺の街並みを巡った。



爲三郎記念館(11/22) 作庭家の野村勘治氏が庭と建物が一体となった空間の魅力をじっくり解説。CBC テレビの取材を受けた。



筧家住宅(11/8) 所有者であり、建築家である筧氏に建築史家の村瀬氏がインタビュー。2人の掛け合いが絶妙。



名古屋テレビ塔(11/21) リニューアル整備された久屋大通公 園から TV 塔を眺め、昔からの EV を つかって展望台までをライブで配信。



小栗家住宅(11/23) Zoom を使ったオンライン講義と交流会を開催。前撮動画はドローンを利用し貴重な空からの映像を配信。

◆オンデマンド配信(20箇所)

登録文化財の魅力紹介動画を制作し、YouTube にて順次配信しました

登録文化財の特徴にあわせ、専門家がじっくり解説する形式、専門家と所有者が対話する形式、ナビゲーターが所有者にお話を伺う形式など、様々な形式の解説動画を制作しています。



布池教会(11/14) 文化財ガイド育成事業での建築史家 村瀬氏の案内を編集。 ステンドグラス やパイプオルガンの演奏も見どころ。



日本陶磁器センター(11/7) 建築史家村瀬氏による解説。モダンな 新館の背後にレトロな旧館が隠れ、新 旧2つの建物が絡み合う姿が魅力。



三井家住宅(旧庄屋)(11/14) ヘリマネの川口氏が「四つ建て」の農 家を家格の上昇にあわせて増築され た様子を解説。所有者のお話も。



柴田家住宅(11/8) 柴田家当主による案内。 土間に架かる 見事な十字梁、2 階の広々とした間取 り、ガス燈の跡など見どころ多数。



尾関家住宅(11/15) 尾関家当主による案内。 犬山焼を復興 させた窯元の屋敷。 博覧会出品の際の 表彰状やメダルなど興味深い。



日本福音ルーテル復活教会(11/21) ヘリマネの山田氏がヴォーリズ建築 の魅力を解説。教会の皆さんによる手 づくり。牧師さんのお話や寸劇も。



川田家住宅(11/28) 登録を働きかけたヘリマネの谷川氏が、町家を移築し農家に転用した建物の魅力を解説。所有者のお話も。



旧湊屋(12/19) 建物を活用する湊屋倶楽部代表大島 氏による案内。茶店として活用するほ か、様々なイベントを開催している。



トヨテック本社社屋(1/9) ヘリマネの成田氏が、電話中継所として建設され、現在は企業の本社として利用されている建物の魅力を解説。



豊橋市公会堂(1/30) ヘリマネの鈴木氏が名建築家中村輿 資平による堂々とした建物の魅力を 解説。ドローン動画もお楽しみに。



野間郵便局旧局舎(11/22) ヘリマネの市川氏が和洋折衷のかわいらしい建物の魅力を解説。所有者との対談も楽しい。



旧石原家住宅(12/5) 建物を受け継いだ娘さん夫妻による 案内。アート展示の会場としても利用 された古民家の魅力を紹介。



豊橋市民俗資料収蔵室(12/26) ヘリマネの望月氏が戦時下の資材の ない中で工夫された小学校について 解説。室長による展示品の紹介も。



富田家住宅(1/16) 冨田家 14 代当主による案内。代官屋 敷として建設された建物をオシャレ なレストランとして再生。



善立寺(2/6) 住職による案内。長い歴史を有する松 平宗家や徳川家ゆかりの寺院。3 つの 天井模様は見ごたえ充分。



中村公園記念館・豊頌軒(11/23) 耐震改修に関わった建築士の澤村氏が日本建築の魅力と改修の様子を解説。茶室の洗練された意匠も見事。



葛利毛織工業(12/12) 現役ノコギリ屋根工場を専務が案内。古い機械を使い続けたことが素材の良さを引き出し、世界に認められることに。



川原田家住宅(1/2) 所有者の川原田夫妻による案内。様々なワークショップ会場として活用。人のつながりで活用の輪を広げている。



寂光院(1/23) 住職による歴史のお話と、本堂等の改修に関わった三輪氏による解説。320 段を登った後の眺望も見どころ。



旧山繁商店(2/13) ヘリマネの後藤氏が瀬戸の焼き物の 歴史に欠かせない陶磁器卸問屋の建 物を解説。今後の保存活用に期待。

オンラインあいたて博は YouTube にて配信

「愛知登文会」チャンネルで配信。愛知登文会のWEBサイトから簡単にアクセスできます。



◆撮影の様子

動画の撮影・編集は愛知県在住の 4 名のクリエーターの方にお願 いしました。予算が限られる中で もみなさんいろいろ工夫して、魅 力的な動画に仕上げていただき ました。



▲窯のある広場・資料館(ライブ配信)



▲大野宿鳳来館・旧料亭菊水(ライブ配信)



▲為三郎記念館(ライブ配信)



▲日本陶磁器センター(オンデマンド配信)



▲寂光院(オンデマンド配信)



視聴者の感想・意見 動画へのコメントやアンケートより

▶ 動画の感想 ◆

- ・毎回、よく工夫されていて、みなさまの熱意を感じられま す。とても良質なライブ配信・動画が実現していると思い ます。質疑応答も丁寧にお答えくださって、オンラインで もみなさまと交流ができて、参加している気持ちになり ます。(大野宿鳳来館・旧料亭菊水)
- ・実物を見るのが一番良いが、オンデマンドも好きな時に何 度も見ることが出来て良い。更に空撮など普段見る事が 出来ないところから見れて良かった。(小栗家住宅)
- ・大変わかりやすく楽しいお話でした。スケッチブックが大 活躍でした。来年、見学にお邪魔したいです。(筧家住宅)
- ・詳しい説明でよかった。今度伺った時にまた見ます。(為 三郎記念館)
- ・ガイドが地元の方で、分かりやすく親しみやすい説明でした。 街並みも見ることができてよかったです。(鳳来館)
- ・パイプオルガンの内部を見られたのが良かった。(布池教会)

◆ 建物の感想 ◆

- ・現役でお使いになっているところが素晴らしい。(葛利毛 織工業)
- ・音楽鑑賞 文化財の有効利用、とっても良い。(旧湊屋)
- ・文化財に人が集まる。良いことです。(ルーテル復活教会)
- ・ガス灯のご説明を聞いて、それが残っている貴重さと電灯 普及の歴史が実感できました。(柴田家住宅)

▶ 意見 ◆

- ・コンテンツはとても綺麗で楽しめたのですが、専門用語な どが多く、初めて建築文化財に触れる人にとってはかな り難しい印象を受けました。解説している箇所を明確に したり、技法などは図式で見せるなどの優しいバージョ ンも用意していただけると嬉しいです。(小栗家住宅)
- ・建物の構造や素材、その年代の特徴などを補足していただ けると、理解が深まるように思いました。(尾関家住宅)

編集後記

コロナ禍によってあいたて博をオンライン開催すると決 定したのが 7 月末。動画制作ははじめてのことで限られた 予算の中でやれるのだろうかと思いながらのスタートとな りましたが、多くの方のご協力で想定していたよりも多くの 動画が制作できました。当初は、実物をみて体感いただくの が一番と思っていましたが、これまで参加したくてもできな かった方に愛知の登録文化財の魅力を一部でも伝えること ができ、新たな可能性が広がったのではと感じています。

次回はリアルとオンラインを組み合わせた形で開催でき ればと思っています。あいたて博のPRにもご協力お願いし ます。

愛知登文会ニュース 第 28 号

発行日: 令和3年1月20日

発行者:愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目6番15号先 名古屋テレビ塔株式会社内

TEL 052-971-8546 FAX 052-961-0561 E-mail info@aichi-tobunkai.org HP http://www.aichi-tobunkai.org

Facebook @aichi. tobunkai @aichitobunkai Twitter aichitobunkai Instagram